



### 神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2017年3月30日  
 編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ  
 組織・広報専門委員会  
 事務局 神奈川大学 総務部校友課内  
 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
 TEL.045-481-5661(代)  
 FAX.045-481-2741

第 27 号

# 22人もの新規会員が加入

## 神奈川



### フロンティアクラブ会長 村田 龍也

日ごろはフロンティアクラブへのご協力、ご支援をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りし、感謝申し上げます。

さて、1997(平成9)年12月に発足したフロンティアクラブは本年12月、20年目を迎えます。「開拓者精神をいつまでも忘れずに。また、慣習などにとらわれずに進んで新しいこと

「開拓者精神をいつまでも忘れずに。また、慣習などにとらわれずに進んで新しいこと

「開拓者精神をいつまでも忘れずに。また、慣習などにとらわれずに進んで新しいこと

### 平成29年度神奈川大学フロンティアクラブ総会

**奨学生が参加、会員と交流深める**

平成29年度の定時総会は2月18日、ホテル横浜キヤメロットジャパンで会員155人の内、出席者45人委任状48通のもとで開かれた。冒頭、村田龍也会長の挨拶(＝上記)では、この1年の活動報告や募金協力への感謝、本年12月に設立20年目を迎えることなどについて触れ、引き続き会員への協力と支援を呼びかけた。

総会に上程された平成28年度の事業や決算報告、平成29年度事業計画、同予算案など全て承認された。総会終了後には、来賓として来られた正野幸延理事長や兼子良夫学長から大学の現状報告や今後の取り組みなどについて力強い抱負が語られた。(＝3面に要旨)

引き続き、本学昭和56年経済学部卒業で株式会社JVCケンウッド代表取締役執行役員副社長の相神一裕さんに「仕事の姿勢と果立つ若者へのメッセージ」と題した講演をしていただいた。(＝2面)

これまでの豊富な経験から得られた教訓を熱心に語り、出席者から「とても勉強になった」「もっともだ」「若い人たちに聴かせたい」などの感想が寄せられた。

講演会終了後の懇親会では、若い村田・フロンティア奨学生10人(現役8人、卒業生2人)も参加し、会員との交流を深めた。奨学生は、将来への抱負やフロンティア会員への感謝の言葉を述べた。

### 箱根交流会

## 富士山の絶景を横目に 第9回箱根交流会を開催



スタート前に富士山をバックに勢ぞろいの参加者

第9回箱根交流会は12月上旬でしたがとても暖かく、富士山の絶景を横目にゴルフの会はスタートしました。

ゴルフコンペと聞くと、非常に緊張しがちですが、箱根交流会の Motto「明るく、楽しく、和やかに」を合言葉に、終始笑顔にあふれたスタートでスタートしました。ハイフを回り終え、各々反省をしながら後半戦がスタート。お昼直後のスタートとあって、ボールはあちらこちらへ。3番ホールでは誰もがワンオンできず、罰金は全てチャリティ募金への寄付となりました。

1募金への寄付となりました。スコアを気にすることなくゴルフ

に緊張しがちですが、箱根交流会の Motto「明るく、楽しく、和やかに」を合言葉に、終始笑顔にあふれたスタートでスタートしました。ハイフを回り終え、各々反省をしながら後半戦がスタート。お昼直後のスタートとあって、ボールはあちらこちらへ。3番ホールでは誰もがワンオンできず、罰金は全てチャリティ募金への寄付となりました。

**事務局からのお知らせ**

**箱根交流会**

★新緑と温泉を楽しむ懇親の会  
 ▽日時 4月21日(金)～22日(土) 21日の午後5時現地集合(午後2時からチェックイン可) ▽宿泊場所 神奈川大学箱根保養所(箱根町大字千石原1104-1)、電話0460-84-9611。費用宿泊(1泊2食付、お酒・特別料理代含む8,000円)、懇親会のみ6,000円※詳細は別途お知らせいたします。(ゴルフの会または温泉を楽しむ懇親の会のみ参加も歓迎)

★ゴルフの会  
 ▽日時 4月21日(金)、8時20分現地集合 ▽コース 富士カントリークラブ(御殿場市東山2472、電話0550-82-1616) ▽会費 特別価格14,688円(キャディー付き、プレー代、賞品代含む、食事代は別) ▽募集人数 7組(28人) ▽参加資格 会員、神大教職員、神大卒業生\* 懇親会と表彰式は、神大箱根保養所で新緑と温泉を楽しむ懇親の会の参加者と合同で行います。



優勝した小淵昌夫さん(左)と村田会長

フプレーは終わり、コースから15分ほど離れた箱根保養所に着。ここから、箱根交流会の大会がスタート。理事長はじめ

**フロンティアサロン**

**第95回フロンティアサロン**

▽日時 5月24日(水)、18時より ▽会場 神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター(横浜市西区みなとみらい2-3-1クイーンズタワーA、14階) ▽テーマ 市民主体のまちづくり～大学と地域連帯～ ▽講師 神奈川大学工学部建築学科教授 山家京子氏 ▽会費 会員1,000円、一般2,000円※ご案内は4月上旬に郵送。

第97回フロンティアサロンを「施設見学会&交流会」として実施する予定です。会員の皆さまの企業で見学など可能な場合は、事務局までご連絡ください。▽連絡先 神奈川大学フロンティア事務局(総務部校友課内)、電話045-481-5661 代表、メール: sotsugyo-info@kanagawa-u.ac.jp。

**【会費の納入について】**6月下旬年会費の納入をお願いを6月上旬に発送いたします。金融機関から自動引き落としの会員の皆さまにつきましては、指定の口座より6月26日(月)に引き落します。ご承知おください。

総勢29人の卒業生や大学職員が宴会場に集まり、保養所の美味しい料理に舌鼓を打ちながら、参加者の持ち寄った高級酒で盛り上がりました。特別賞を掛けた宴会場での大じゃんけん大会後には会場を移し、2次会、3次会へと続く楽しく盛大な懇親会となりました。

参加者は翌朝、小田原の美味しい干物をお土産に帰路につきました。

◇ 平成24年度にスタートした箱根交流会は、昨年度で9回を数えました。当初(平成24年度)は、フロンティアサロン以外の各種イベントもなく、フロンティアクラブそのものの継続が検討されるほどでした。しかし、当時の運営委員の皆さんが何とかフロンティアクラブをもう一度活性化していこうと、実方副会長を中心に企画・運営して参りました。

最近では、新しく入会された人たちの参加もあり、新しい企画を取り入れながら開催しております。第10回箱根交流会は4月21日(金)～22日(土)の1泊2日で開催します。まだ間に合います。是非ともご参加ください。

(事務局 後藤喜多郎)

フロンティアクラブ会員紹介

加藤 伸一

学生時代の思い出



入学は昭和45年で、新潟市から横浜に参りました。当時はまだ路面電車が走っており、下宿の近くに停車場がありました。廃止となる昭和47年頃までは、横浜駅まで良く利用しました。

また、入学の年は70年安保闘争の年でもありました。入学しても授業はなく、時々授業日程

しばらくの間はアルバイトを見つけて働きました。北海道の山々を友だちとテントを持って登山をしながら一周したり、月の石を見に大阪万博に行ったりの生活でした。その後、フェンスの練習を見て珍しさもあり入部し、卒業までやっておりました。現在廃部になったのか名前が見当たりません。当時一緒に活動していた仲間とは交際はありますが、寂しくもあり残念でもあります。しかし、掛け替えのない良い思い出となっています。

(昭和49年法律卒)

河野 博

学生時代の友人が財産



卒業から40年余りになりました。神奈川県神奈川区宮川区です。当時は、建設ブームで設計に憧れ、建築学科があり学費も安く徒歩で行けた神大を受験しました。卒業した昭和51年は、オイルショックの影響を被り、就職活動は大変苦労しました。建築設計事務所などを経て、今の会社に定年まで勤めました。現在は、非常勤です。

大学では、全国から来た学生と友人になれた事が一つの財産だと今思います。熊本、徳島、群馬、愛知などの友人の故郷で色々な体験をし、今でも交際を続けています。学生時代は、横浜ダイヤモンド地下街(現東急ストア)で4年間アルバイトをし、休憩中に窓から天理ビル建設現場がよく見えました。当時、私と同じ年で、浜田省吾さんが法学部に在籍していたそうです。

坂入 知行

継続してきた誠意と努力



昨年10月、当クラブの小林二三夫さんに紹介され、春原副会長にお会いし入会しました。学生生活前半の2年間は宮面寮で後半の2年間は都内に友人と一緒に下宿し、平凡な日々を送りました。が反面、社会人となって従事した業務は

多岐にわたり、多忙で変化の多いものでした。二つほど業務事例を申し上げます。

前半は証券関係の業務です。数回にわたる額面株式の増資や株式上場、数社の会社設立、合併業務など激務が続きました。企業の浮沈は何時の時代でもあるもので、会社の不祥事後始末や債券に邁進したものでした。

後半はグループ企業内の保険代理店の整備や設立に従事しましたが、保険の自由化の下においては企業内代理店も外部に進出する時代だと考え、「保険ショップ」を展開しました。当時、企業内代理店が保険ショップを手がけることは極めて稀であり、

数々の企業からアドバイスの提供を求められたものでした。「誠意と努力」の業務姿勢を継続してきたと自負しております。数々の試練や難問に直面し、途方にくれた折、沢山の方々にバックアップやアドバイスを頂いたお蔭で現在があるのだと改めて感謝の気持ちを強くしております。

今後は微力ながら母校や当会がますます発展することに貢献できればと思っております。

(昭和36年貿易卒)

最近、趣味で地元の農家の友だちと一年を通して野菜づくりや旅行、音楽鑑賞(妻は音楽教師)、野球観戦(横浜DeNA)などを楽しんでいます。また、十数年ぶりに下手なゴルフを始めました。今後は、総会や交流会等を通じて見聞を広げ、神大の発展に微力ながら貢献したいと思っています。

(昭和51年建築卒)

米国のTPP交渉に取り組んでいた5年半。この間、中国では、2012年に習近平氏が中国共産党総書記、国家主席に就任。早々に、米国抜きのASEAN+6カ国、計16カ国によるFTA包括協定(RCEP)の交渉に参加し、翌年には「A I

IB」構想、さらにその翌年には「一带一路」構想を打ち出し、TPPに対峙するかのようになり、シルクロード構想の実現に動き出した。いまや、その触手は「BREXIT」に揺れる欧州にまで延びている。

こうしたなか、トランプ候補に拠って立つと明言する。しかしながら、米国内の雇用を創出することにより「偉大なる米国」を実現するとして、選挙に勝利した。雇用創出のためにインフラ整備に着手し、雇用を奪うTPPからは離脱すると公約。また、すべての政策は、「米国第一主義」に拠って立つと明言する。しかしながら、世界は、「米国第一主義」を前にして、二国間交渉で米国と対等に渡り合うことは困難である。これでは、「世界恐慌」(1929年)後の米国のニューディール政策を想起する人があっても不思議ではない。他方、TPPの国会批准を

五輪メダリスト輩出を目指して

昨年の総会で「下位常連チームから学生チャンピオンを育てるまで」の記念講演をしていただいた本学レスリング

レスリング部監督 吉本 収

部監督(全日本学生レスリング連盟常任理事、強化委員長)の吉本収さんから、その後のレスリング部の様子などを寄稿していただきました。

会(20歳以下対象)において、優勝者1名、3位3名という好成績を残すことができ、優勝した山口は8月末にフランスで開催された「世界ジュニア選手権大会」のグレコロー

昨年3月卒業し、自衛隊体育学校に入校した阪部が6月の「明治杯全日本選抜選手権大会」ではグレコローマンスタイル75kg級で初優勝、いよいよ日本トップに登り詰め、4年後の東京オリンピック代表への名乗りを挙げました。



平成28年度の各種選手権大会入賞部員

昨年度の総会講演会におきましては、レスリング部紹介の機会を与えていただき、誠にありがとうございました。御出席の皆様には御好評いただきましたことに感謝しております。

さて、レスリング部の今年度成績は、4月の「JOC杯全日本ジュニア選手権大会」に出場し、3人共ベスト

8に入りました。その他の学生大会においても女子選手を含め、常にメダルを獲得しており、順調な強化の成果が出ております。

更に、昨年度より、韓国の強豪校である全州大学校とスポーツ国際交流を始めており、お互いの大学に赴いて合同練習を行うことで、強化だけではなく異文化体験を連動させてグローバルな人間育成を目指しています。

来年度の新生は、全国制覇した高校生チャンピオン2名が入学し、更に部のムードも活気付いてくることとなります。

また、卒業生においても、

昨年3月卒業し、自衛隊体育学校に入校した阪部が6月の「明治杯全日本選抜選手権大会」ではグレコローマンスタイル75kg級で初優勝、いよいよ日本トップに登り詰め、4年後の東京オリンピック代表への名乗りを挙げました。

リオデジャネイロオリンピックで日本はメダルラッシュに沸きましたが、近い将来、本学レスリング部から五輪メダリスト輩出を目標とし、日々指導に努めてゆきますので、今後も変わらぬ応援をよろしく願います。

フロンティアクラブの益々のご発展と会員皆様のご健康を祈念しております。

第92回フロンティアサロン講演 講師寄稿

平成28年度 村橋・フロンティア奨学金

関する知識をさらに身につけると同時に、気持ちを一度リセットし、就職や将来の自分について考え直す機会にしてはどうかというものでした。

大学院に進学して半年が経とうとしている今、進学する選択をして良かったと感じています。研究は難しく、うまくいかないこともありますが、自らの手で新しいことを進めることに責任を感じるとともに、成果を出したという気持ちも強くなります。

今こうして研究が出来るのも、奨学金のおかげです。大学に進学する時点で、奨学金で学費をまかなうことを条件とされておりました。大学院も同様でした。学部

生と違い、休日や放課の時間が少ないためアルバイトの時間も減りました。また、学費だけでなく生活費やアパートの家賃もすべて自分で払っており、学費の出費はとて大きい負担でした。しかし、今回、村橋・フロンティア奨学金の奨学生として採用していただいたことで、後期の学費に充てることが出来ました。両親も非常に安心しておりました。

卒業後には化学に関する技術職に就きたいと考えており、そのための勉強も始めました。研究も楽なことばかりではありませんが、良い結果が得られるよう精進していきたいと考えております。

奨学生としての誇りをもち、立派な社会人として活躍すること、このご恩を次の世代に繋ぎたいと考えております。

人間科学科2年 女子  
勉学と部活にさらに意欲

この度は、村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、心より感謝申し上げます。

私の父親は、6年前に脳出血により倒れました。その時の後遺症により、自身の力で動くことや食事を摂ることが出来なくなり、現在も寝たきりの状態です。また、祖母は腰椎の圧迫骨折を起こし、自宅で療養中です。

母は2人の介護を在宅で行っているため、これまで勤めていた会社を辞職しました。現在収入が無い状態のため、現在は父の保険金と貯蓄を切り崩して生活をしています。

実家は長野県にあり、私は現在大学の近辺で一人暮らしをしています。本学の吹奏楽部に所属しており、部活動が夜遅くまであるため、アルバイトをする時間を設けることが出来ません。そのため、生活費や部活動費等の、経済的な先の見えない不安に駆られていました。

以上のような事情により、今回、村橋・フロンティア奨学金に応募させていただきました。

無事奨学生に採用していただき、家族の経済的、また精神的負担を軽減できました。今回奨学生として採用していただいたことで、勉学と部活動に対するさらなる意欲が沸きました。大学でしかできない学びと、全国に名を挙げる吹奏楽部で活動できることに感謝をして、これからも活動していく所存です。

最後になりましたが、村橋・フロンティア奨学金に関わる全ての方に厚く御礼を申し上げます。常に感謝の気持ちを忘れず、有意義な大学生活にしたいと思います。



小島 孝夫  
一般社団法人日本貿易会  
理事総務グループ担当

# アメリカ大統領選挙とTPP

(平成28年11月16日講演)

今日は、2016年11月16日、天気晴朗なれど波高し。

1週間前の米国大統領選挙の結果は、大方の予想に反し

6年にニュージールランド、シンガポール、チリ、ブルネイの4カ国でスタートし、米国が交渉に参加したのは2010年である。その米国が、TPPをより強大なものとするべく、日本に参加を求め、日本は2013年か



関心の高いTPPの今後を耳を傾ける参加者

## 坂本 繁美

### 38歳で独立



私は、島根県松江南高等学校を卒業後、昭和42年4月に神奈川大学に入

現在是不動産、建築関係の会社を7社、広告関係の会社を1社経営しており、グループ企業全体で200人ほどの社員が

在籍しております。神奈川大学卒業生も何人か勤務しています。仕事の方はまだまだ現役ですが、フロンティアクラブの事はよく

分かります。ご指導頂きますようよろしくお願いいたします。趣味はゴルフや釣り、旅行、音楽鑑賞です。(昭和47年法律卒)

学。1年間だけ柔道部に所属していました。地方出身のため神奈川区三枚町で間借りをしながらの通学でした。体育会の部活をしてるとなかなかアルバイトもできず、なにか違和感を感じ、2年次に進級後、1年間休学しました。カクテルラウンジのアルバイトをしている時に知り合った音楽バンドの方に、あ

バンドを紹介して頂き音楽活動が始まりました。それから主にキャバレー回りの演奏が3年半ほど続き、同期の人より1年遅れの昭和47年3月の卒業となりました。(本来は昭和46年3月に卒業するはずでした)

学校の方は1年間の休学後、2年次に復学致しました。昼は学校へ行き、夜は音楽活動。一時はレコードデビューも目ざしましたが夢叶わず。卒業後は不動産関係の仕事に就き、その後2〜3回ほどの転職後昭和61年12月に38歳で独立。仕事はもちろん不動産業です。今年は設立30年目ということになります。

現在、弁護士として活動し、大変なことももちろんありますが、とてもやりがいを感じています。今後は、学生に対し私が話をする側に回り、少しでも多くの学生を法曹界に輩出できるようにしたいと思っています。そのためにフロンティアクラブに加入し、後進の育成ひいては大学の発展に寄与したいと思っています。

若輩者ではありますが今後ともよろしくお願致します。(平成21年法律卒)

## 大塚 友広

### 中野宏一教授に感謝



中野宏一教授のゼミナールで、マーケティングという人生を変える実学に出会い、必死で勉強したのを今でも良く覚えている。フィ

リップ・コトラーのマーケティングマネジメントを何度も何度も読み返し、ゼミナール大会で結果を残すことにすべてを注いだ。中野ゼミナールでの3年間

自分の仕事における自信と支え

自分には大きな命題を与えていた

になっている。

個人の性格しか存在していなかったただの人に、マーケティングという専門領域が個性として人格に入り込み、またチームで本気で高いところを目指そうとする中で、チーム内における自分の強みやチームの力を最大にするための方法を考え、

自分は社会で何をすべきかという大きな命題を与えていた

た中野宏一教授に、感謝の念が絶えない。また、良ければ良い時ほど叱りつけてくれた愛情に心から感謝している。

未だに大学時代に与えていただいた自分の軸はブレることがない。群馬県富岡市の富岡製糸場の世界遺産プロジェクトで地域戦略を率いた際も、現在の会社経営においても、中野教授に

教わったことをただただ守り続けているだけである。

大学も変革期を迎えている。今までの枠組みやどうでも良い組織内部のしがらみにとらわれず、「社会にとって必要な人材を輩出する」という本質にこだわることができれば、評価は後から勝手にやってくる。少なくとも私は神奈川大学でそれを教えて頂いた。(平成17年貿易卒)

フロンティアクラブ会員紹介

久米 信行

在学時に受けた一番のショック



私が神奈川大学に入学したのは昭和45年、

学生運動のまだ勢いがとても強かった頃でした。大講堂での入式もヘルメットを被った学生達に彼らの言葉でいえば粉砕され、授業も学生大会により休

講、休講の連続で講義を満足に受けられない状況でした。試験もレポートが多く、先生の顔を拝見したことの無い授業もあり、それに甘んじて漫画研究会の仲間たちと遊びに興じていた自分でもありました。そのついでが卒業までついて回ったのは言うまでもありません。幸い必修科目

を4年間で済ませることができ、卒業式を迎えられたのは幸運だったと思います。

大学で一番ショックを受けたのは、「先生は偉い」という概念を崩されたことだったと思います。本館横の立て看板の前でヘルメット姿の学生たちに囲まれた高齢の先生が、同じく周りから見ている学生たちの前で孫のような学生に「お前！」などと呼ばれ、罵倒され、尊敬の念もなく人格を否定され、吊る

し上げられた光景が日常的にありました。年上の人や両親、先生に対しては怖いとは思えな

い田舎者の私には、信じられないことでした。このときの学生の民主化運動によるカリキュラム緩和と政策や大学の管理体制の脆弱化が、本学の教育体制を脆弱化させ、結果として社会の需要に主体的に応えられない組織体制ができ、世間に遅れをとることになってしまいました。

今、学園紛争勃発から約半世紀を経てその紛争は忘れ去られ、大学の組織は整備され、ハード面での改革ができ、財政面でも安定し、教育研究面でも次々と新しい政策を立ち上げて負の遺産を解消しています。これらの政策の中で、私たちに与って協力できる重要政策はやはり、神大を思うOBをいかに増やすかです。非力ながらOBとしてまた職員OBでもある自分に何が出来るか、それが課題です。

(昭和49年経済卒)

「村橋精神」に感謝

平成28年度の奨学生から寄せられたお礼の言葉を紹介します。(その2)

自治行政科2年 女子  
目指すは公務員

この度、村橋・フロンティアの奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。1年生の時に、勉学に一生懸命取り組んだ結果この村橋・フロンティアの奨学生に選んでいただけ

かり手術を受けたことにより一生涯を飲み続けなければいけない体になりました。一級障害者認定を受け、またいつ手術になるかわからない状態です。また、弟が中学3年生でこの先高校進学を希望しており、これまでより多くの教育費がかかることなど、家計への負担が大きくなりました。私は、家計への負担を少しでも減らすために大学への

電車の定期代や食費などは高校時代アルバイトで働いて貯めたお金でもまかかっていましたが、そのお金も少なくなってきたいます。新しくアルバイトをすることも考えましたが、平日は公務員養成プログラムで遅くまで学校のある日が多いことや、休日はボランティア活動に参加しさらに勉強の予習・復習に時間をあてているため難しい状況で

した。そんな中、村橋・フロンティアの奨学生に選んで頂けたことで不安に思っていたことが軽減され、勉学に集中することが出来ます。いただいた奨学金を利用して、資格取得講座を受けたいと考えています。資格取得講座の中で特に受けたいと思

身についていく実感があります。また、ボランティアを通して人と関わる機会がたくさんあり、人とのつながりの大切さを今までも感じることが出来ました。これからも積極的にボランティアに参加してたくさんの人達と関わっていきたくと考えています。勉強、ボランティアを通して今まで以上に人間性を磨き、神奈川大学を卒業し、神奈川大学の卒業生として恥ずかしくない、人としてモラルと教養を備え社会に貢献できる公務員を目指したいと考えています。

物質生命化学科1年 女子  
夢は思いやりのある先生

この度は、2016年度村橋・フロンティア奨学生に採用していただきまして、心より感謝申し上げます。

私は、5人家族です。母は、体調を崩し仕事を続けられなくなり、父は、自己都合退職をし、両親ともに休職の期間が長くありました。そのため、経済的に非常に厳しいのが現状です。姉は、奨学金を借りながら看護の専門学校に通っています。私も奨学金を借り、アルバイトをしています

が、奨学金を借りながら看護の専門学校に通っています。私も奨学金を借り、アルバイトをしています。また、勉強や課題に時間を使うことでアルバイトをする時間があるように取れないのが現状です。このような中で、今年度の村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、親子共々嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱい

です。このように取れないのが現状です。このような中で、今年度の村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、親子共々嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。学費に一人暮らしのための費用と、両親には負担を

えています。私は、大学受験を通し、先生方の暖かさに触れてきました。今は生徒を思いやれるような先生になりたいという夢を抱いています。大学では、教員免許を取得するため必要な授業を受け、単位をしっかりと取り、それに加え、教育実習などの実践的な活動を通して教師に必要な指導力、判断力を身に付けたいです。

また、私は工学部ですが、英語の論文を読む機会がたくさんあると思います。英語にも力を入れていきたいです。学科としても必要としますが、将来的にも多く必要とするので、大学生活のうちに習得したいと考えています。そのためにTOEICを中心に勉強していきます。最後にありますが、多くの応募者の中から私たちを選んでいただいたことに深く感謝し、神奈川大学の学生であること、奨学生であることに誇りと自覚を持ち、学生生活に邁進してまいります。そして、自分の夢を叶えることで大学に通わしてくれている両親やこのように支援してくださる方々に恩を返していきたいと思

化学関係技術職を目指す  
この度は「村橋・フロンティア奨学金」の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は現在湘南ひらつかキャンパスにある、理学研究科理学専攻博士前期課程に在籍しております。加部義夫教授の下、「シリカからテトラエトキシシランのバイオミメティック合成」というテーマで研究をしております。

1年前、学部4年生の私は就職活動をしており、こうして大学院に進学している将来など全く考えていませんでした。自分のやりたいこと、性格など熟考した上で就職の軸を定め活動しておりましたが、頂く返事はいづれも「お祈りメール」と呼ばれるものでした。そうした状況が長く続き、自分が社会から必要とされていないのではな

海外市場で活躍したい  
現代ビジネス学科1年 女子  
この度は、歴史ある村橋・フロンティア奨学生として採用していただき、経済的支援をしていただけました。心より厚く御礼申し上げます。ともに、村橋氏の報恩、感謝、功徳の精神をしっかりと継承していきたく思います。

今回の奨学金は、留学費として資格取得のための費用などとして使わせていただきました。私は将来、国際市場で活躍できるようなグローバルな人材になりたいと考えております。そのためには、海外での経験や将来の夢を叶えるための糧となる資格等の支援が必要でした。

私の父は、私が高校1年次に他界し、母も癌を患っており経済的に苦しい家庭であるため、それらの費用を自分自身で賄わなければなりません。金受給者として選任していただいたことに改めて感謝の意を伝えたいです。

現在、神奈川大学歴史民俗資料研究学科の教授の元で仕事を任せていただいております。私は、将来海外市場で働きたいという意思があります。そのためには、まず自国について詳しく知ることが諸外国の人々と交流する上で必要だと考えました。教授の元で働くことで日本についての知識が増え、様々な縁が広がる喜びを日々感じています。入学して間もない1年生である私を仕事に誘っていただけ

たのも、学生の身分である勉学に打ち込める環境を得ることができたからだと考えております。

質実剛健・積極進取・中正堅実を建学の精神に掲げる神奈川大学の学生として、社会に還元し貢献することのできる人となるよう努力する所存です。

至らない点などが多々あるかと思いますが、これをもつて村橋・フロンティアの皆様への御礼とさせていただきます。未筆ながら、皆様も御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。